



マックス株式会社

2022年3月期 決算説明及び修正中期経営計画

発表日:2022年4月28日

出席者

代表取締役社長	黒沢 光照
常務取締役 上席執行役員	角 芳尋
執行役員 経理部長	北谷 明雄
IR広報・ESG推進室長	須田 庸夫

目次

2022年3月期 全社実績

1. 2022年3月期 全社実績
2. 2018～22年3月期 全社実績推移
3. 四半期別全社実績推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 戦略的投資の実績
7. 経済指標

2022年3月期 セグメント実績

8. 2022年3月期 セグメント実績
9. 四半期別セグメント実績推移
10. インダストリアル機器部門 2022年3月期実績
11. インダストリアル機器部門 四半期別実績推移
12. オフィス機器部門 2022年3月期実績
13. オフィス機器部門 四半期別実績推移
14. HCR機器部門 2022年3月期実績
15. HCR機器部門 四半期別実績推移
16. 四半期別海外地域別売上高推移
17. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況

2023-2024年3月期 修正中期経営計画

18. 中期経営計画の進捗・振り返り
19. 2023～24年3月期 全社計画
20. 2023～24年3月期 セグメント別計画
21. インダストリアル機器部門 (2023～24年3月期 計画)
22. オフィス機器部門 (2023～24年3月期 計画)
23. HCR機器部門 (2023～24年3月期 計画)
24. 鉄筋結束機事業の展開
25. 戦略的投資計画
26. 配当政策の見直し
27. 配当政策 配当性向と純資産配当率
28. 配当政策 1株当たり配当金

参考資料

29. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移 (北米)
30. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移 (欧州)
31. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移 (日本除くアジア)
32. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
33. 国内・海外機工品事業 製品内訳
34. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2022年3月期 全社実績

2022年3月期 全社実績

■為替レート

当期 1ドル 112.08円 / 1ユーロ 130.56円

前期 1ドル 105.79円 / 1ユーロ 123.22円

計画 1ドル 109.96円 / 1ユーロ 130.59円

(単位:百万円、%)

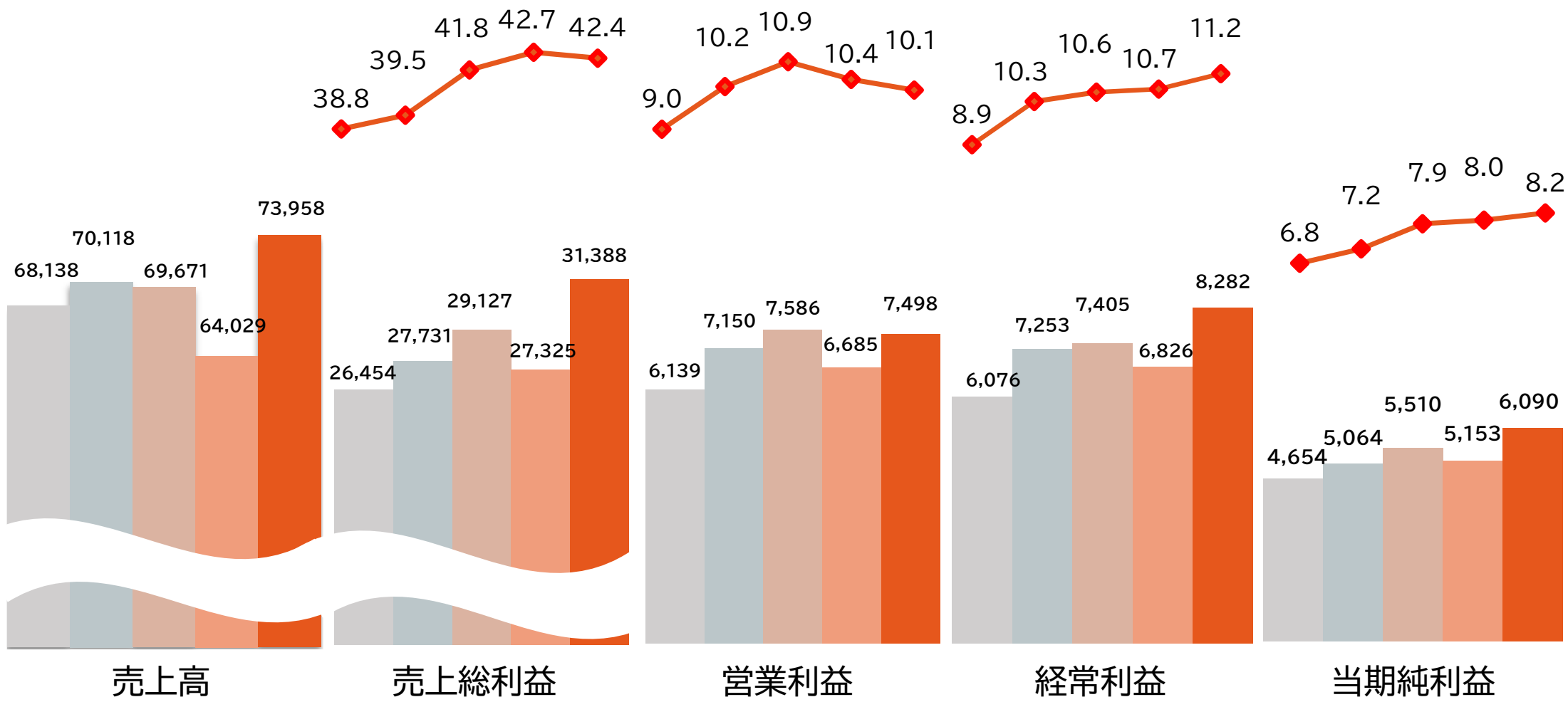
	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	達成率
売上高	73,958	64,029	+15.5	72,600	101.9
売上総利益	31,388	27,325	+14.9	—	—
同率	42.4	42.7	—	—	—
営業利益	7,498	6,685	+12.2	7,600	98.7
同率	10.1	10.4	—	10.5	—
経常利益	8,282	6,826	+21.3	7,600	109.0
同率	11.2	10.7	—	10.5	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,090	5,153	+18.2	5,650	107.8
同率	8.2	8.0	—	7.8	—
ROE	7.5	6.7	—	7.1	—
一株当たり当期純利益	128.40	105.80	—	119.11	—
一株当たり配当金	64円	48円	+16円	50円	—

※2021年10月29日発表の計画

2018~22年3月期 全社実績推移

2018年3月期
 2019年3月期
 2020年3月期
 2021年3月期
 2022年3月期
 同率

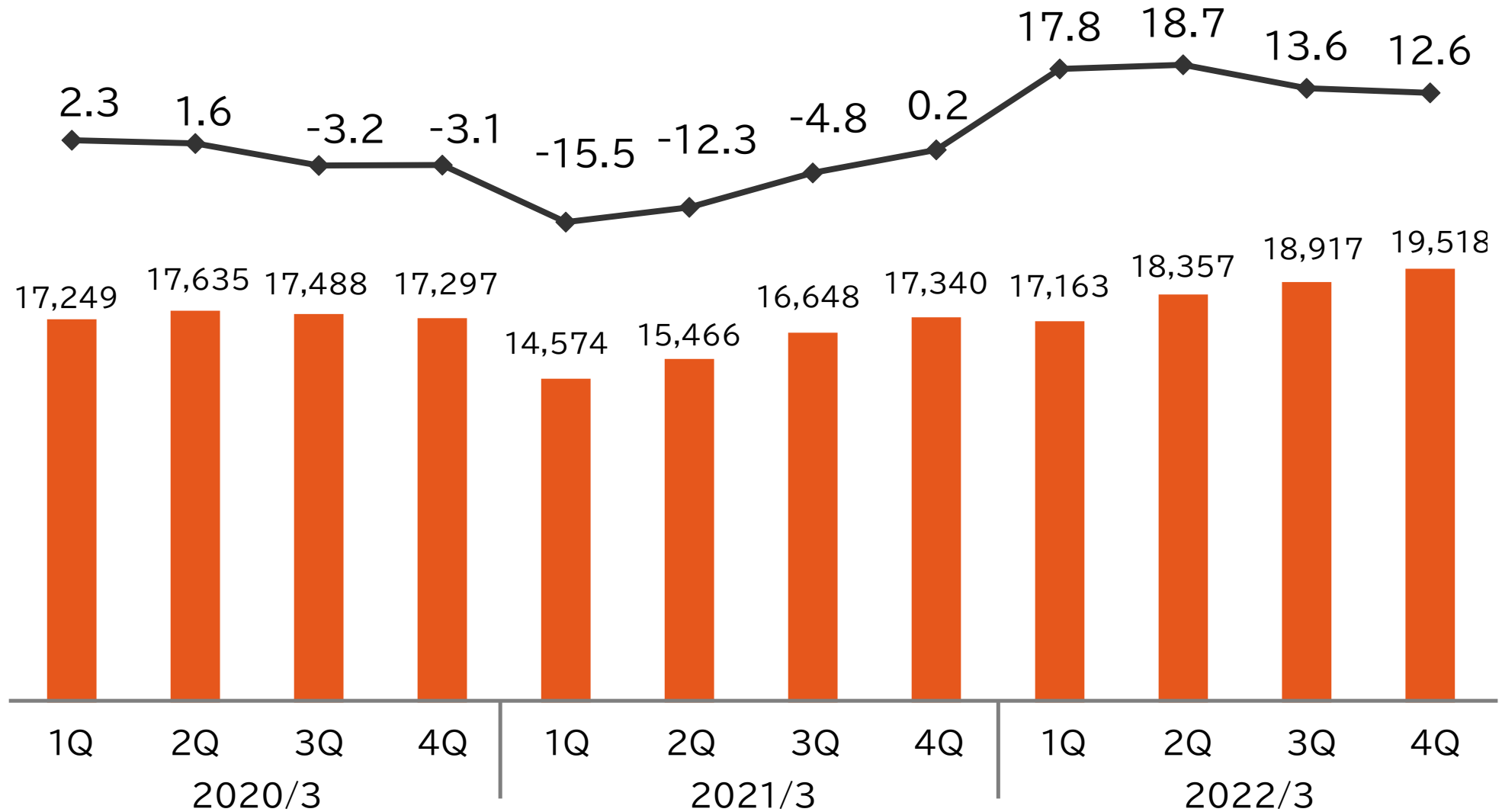
(単位:百万円、%)



四半期別全社実績推移

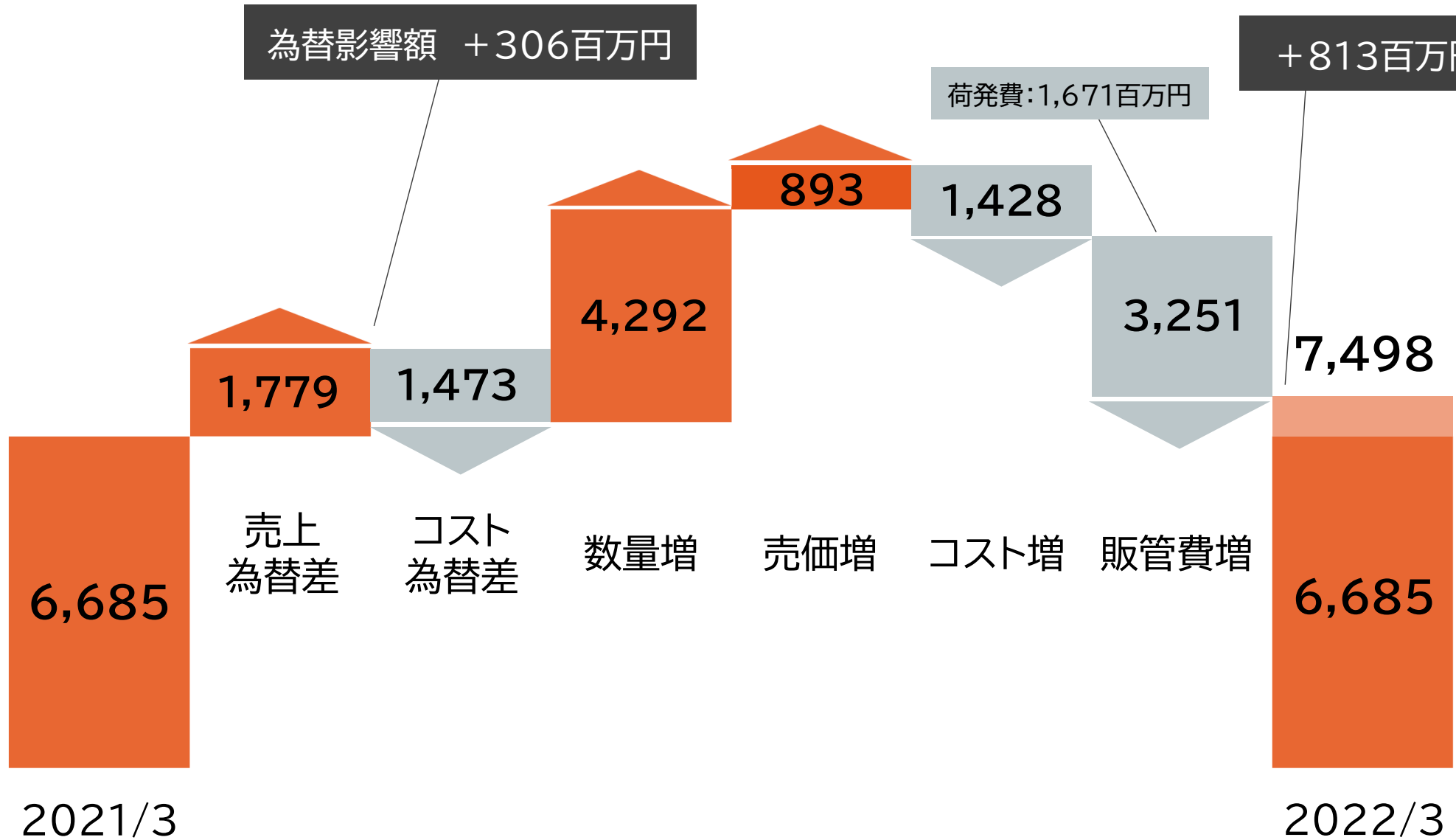
■ 全社 売上高 ◆ 全社 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	2022年3月期	2021年3月期	前年差
営業外収支	783	141	+642
営業外収益(為替除き)	387	324	+63
営業外費用(為替除き)	△90	△89	△1
為替差額	486	△94	+580
特別損益	△32	205	△238
特別利益	3	※ 256	△252
特別損失	△36	△50	+13

※ 過年度関税還付額 226百万円

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	2022年3月期	2021年3月期	2022年3月期 年間計画	実行率
設備投資	4,183	4,967	5,388	77.6
減価償却費	2,811	2,522	2,933	95.8
研究開発費	3,463	3,128	3,256	106.4

重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

3年間累計投資額
(2022/3~24/3) 36億円

(単位:百万円)

2022年3月期	実績	計画※	実行率
営業インフラへの増強投資	168	188	89.4%
デジタル技術への投資	119	156	76.3%
開発戦略投資	364	417	87.3%
ブランド戦略 他	34	43	79.1%
合計	685	804	85.2%

※2022年2月1日時点の見込み

国内

新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中、国内経済は持ち直しの動きが継続。インダストリアル機器部門に関連する住宅市場では2021年3月以降、新設住宅着工戸数が前年に対して増加。

海外

新型コロナウイルス感染症による影響が徐々に緩和され、海外経済は回復基調を維持。米国の建設支出額や新設住宅着工戸数の増加、欧州各国の大規模公共投資によるインフラ需要増など、欧米の建築・土木現場は活況が続く。

参考指標

新設住宅着工戸数

・2021年1月～12月は前年比+5.0%
(持家+9.4%、賃貸+4.8%、分譲+1.5%)

→機工品事業(木造系)、住環境機器事業にプラス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2020年10月～2021年9月は前年比+0.6%
(事務所+10.5%、店舗21.9%、工場△5.7%、倉庫+5.5%)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、足元で不足状態
→機工品事業(コンクリート系)にプラス影響

為替

・1ドル112.08円、1ユーロ130.56円
(前年:1ドル105.79円、1ユーロ123.22円)

→全社の為替感応度は、外貨での売上・仕入額のバランスがとれており、営業利益への影響は少ない。

米国の新設住宅着工戸数

・2022年1月の年率換算値は167.9万戸、2月は178.8万戸、3月は179.3万戸
(前年1月:162.5万戸、2月:144.7万戸、3月:172.5万戸)

2022年3月期 セグメント実績

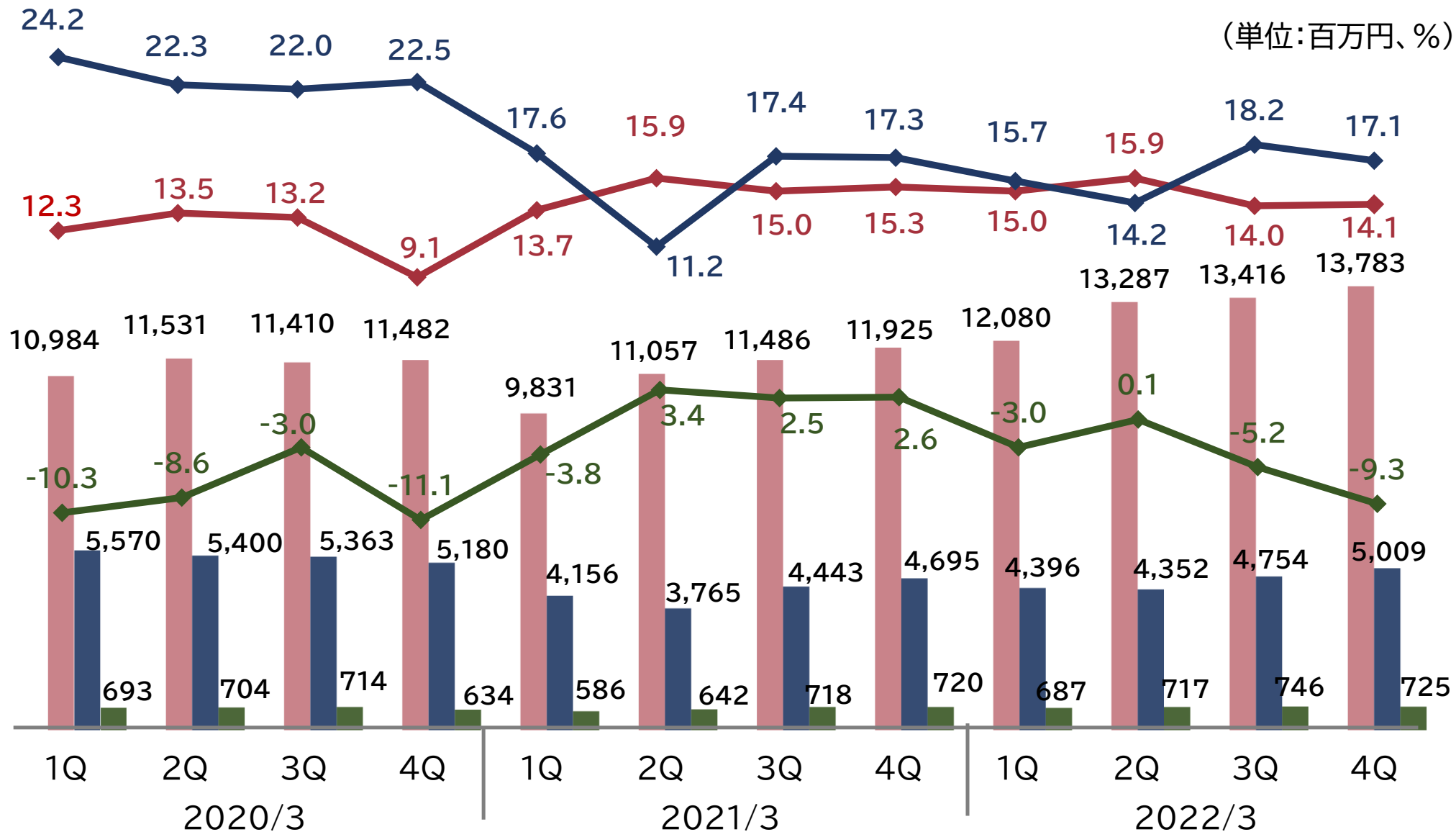
2022年3月期 セグメント実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	通期計画 ※ ※2021年10月29日発表値	達成率
インダストリアル機器部門					
売上高	52,569	44,300	+18.7	51,000	103.1
セグメント利益	7,739	6,652	+16.3	7,630	101.4
セグメント利益率	14.7	15.0		15.0	
オフィス機器部門					
売上高	18,513	17,061	+8.5	18,720	98.9
セグメント利益	3,034	2,738	+10.8	3,270	92.8
セグメント利益率	16.4	16.1		17.5	
HCR機器部門					
売上高	2,875	2,667	+7.8	2,880	99.9
セグメント利益	△126	36	-	0	-
セグメント利益率	△4.4	1.4		-	
調整額	△3,148	△2,741	+14.8	△3,300	-
全社計					
売上高	73,958	64,029	+15.5	72,600	101.9
営業利益	7,498	6,685	+12.2	7,600	98.7
営業利益率	10.1	10.4		10.5	

四半期別セグメント実績推移

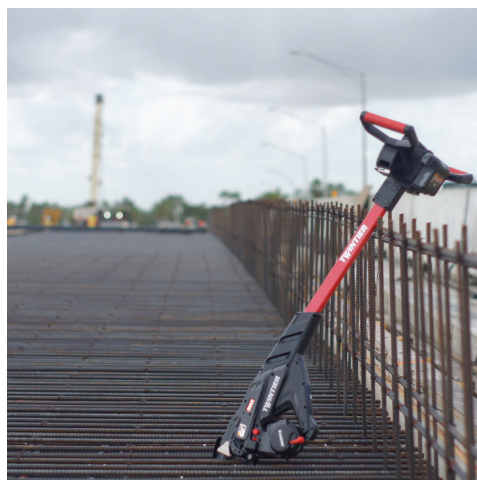
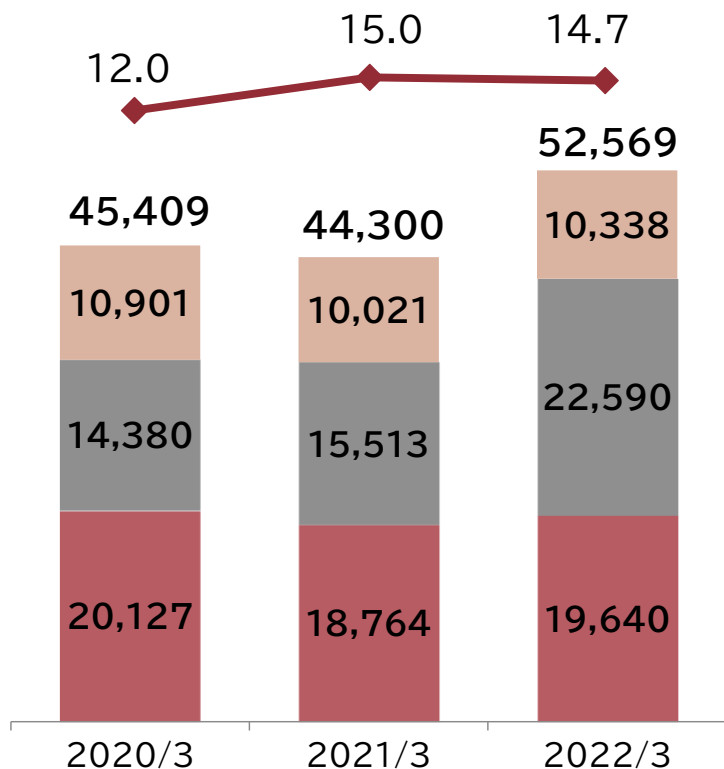
■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 ■ HCR機器部門 売上高
— インダストリアル機器部門 セグメント利益率 — オフィス機器部門 セグメント利益率 — HCR機器部門 セグメント利益率



インダストリアル機器部門 2022年3月期実績

- 国内機工品事業
- 海外機工品事業
- 住環境機器事業
- セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」
ウォーカーモデル



浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」

国内機工品事業

- ▶ 国内の新設住宅着工戸数の前年に対する堅調な推移を背景に、木造建築物向け工具の消耗品の販売が増加したほか、鉄筋結束機「ツインタイア」の専用消耗品の販売が伸長しました。

海外機工品事業

- ▶ 米国での建設支出額や住宅着工戸数の増加、欧州におけるインフラ需要の拡大など好調な市況を背景として、鉄筋結束機「ツインタイア」及びその専用消耗品の販売が大きく伸長したほか、木造建築物向け工具の販売が増加しました。

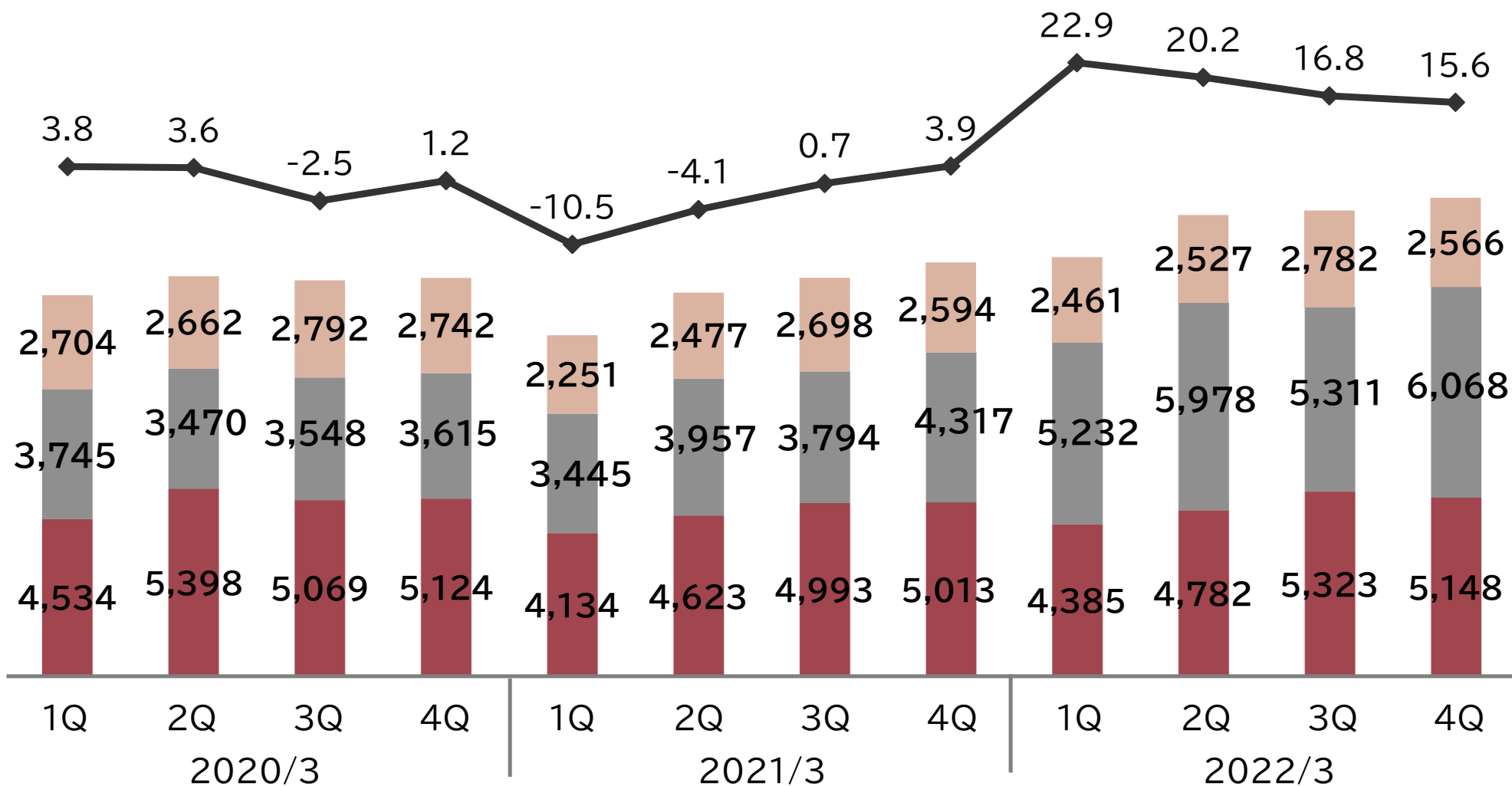
住環境機器事業

- ▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売がリフォーム・リプレイスのストック市場と新築住宅市場でともに伸長しました。

インダストリアル機器部門 四半期別実績推移

■ 国内機工品事業 売上高
 ■ 海外機工品事業 売上高
 ■ 住環境機器事業売上高
 - インダストリアル機器部門 売上高前年同期比伸率

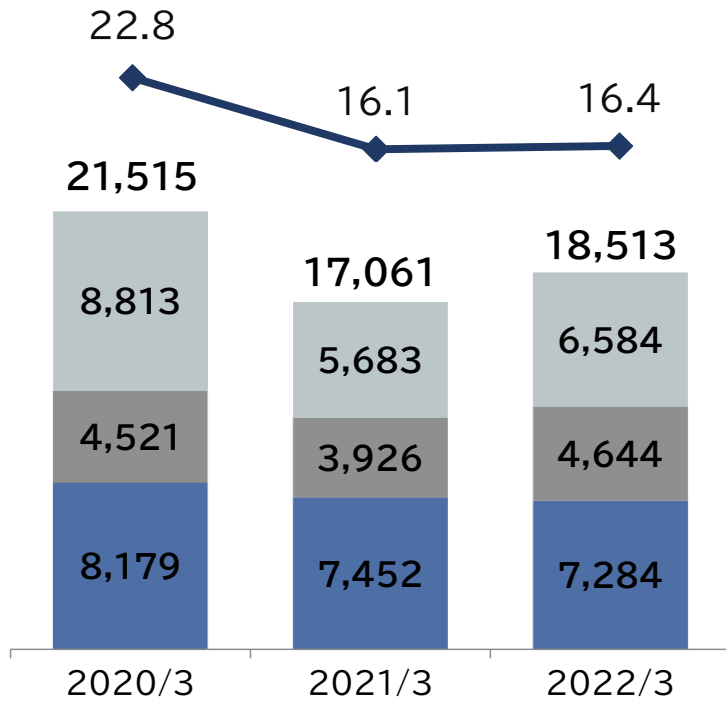
(単位:百万円、%)



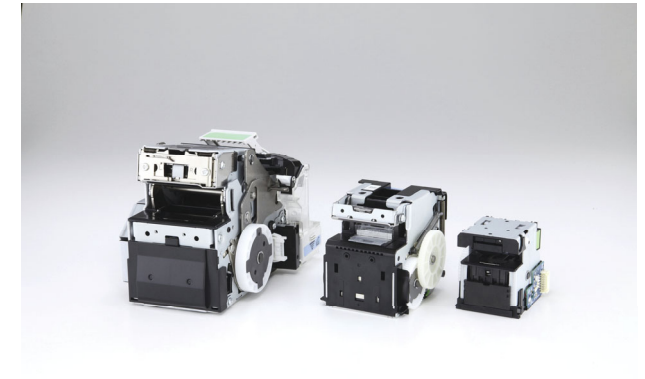
オフィス機器部門 2022年3月期実績

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
 ■ オートステープラ事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



チューブマーカ―「レタツイン」



複合機内蔵用電動ホッチキス「オートステープラ」

国内オフィス事業

- ▶ 文具関連製品の販売が減少したことに加え、第4四半期には電子部品不足の影響により文字表示機器の販売が鈍化しました。

海外オフィス事業

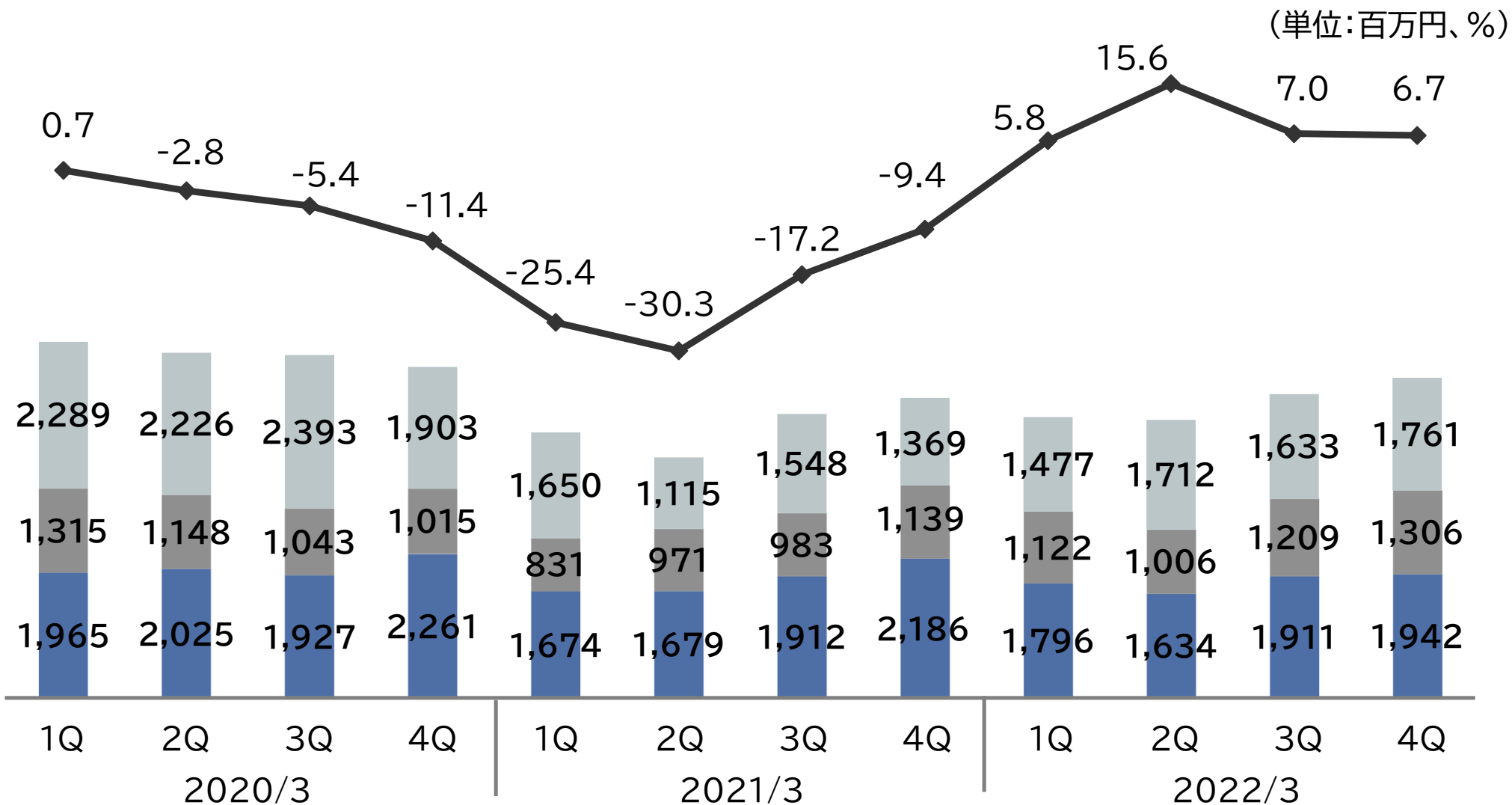
- ▶ 欧州において営業活動が一部制限された影響で表示作成機「ビーポップ」の販売が停滞したものの、東南アジアで文具関連製品の販売が増加したほか、中国でチューブマーカ―「レタツイン」の販売が好調に推移しました。

オートステープラ事業

- ▶ オフィス稼働率の緩やかな回復により、機械・消耗品の販売が増加しました。

オフィス機器部門 四半期別実績推移

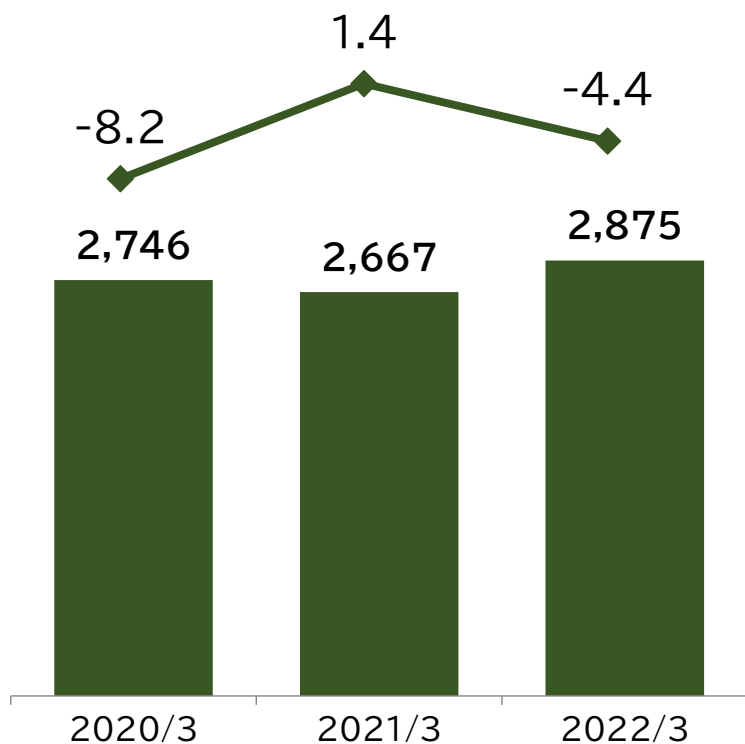
■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高
 - オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率



HCR機器部門 2022年3月期実績

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



多機能車いす
「モダンシリーズ」



機能性車いす
「ウェイビトループラス」

HCR機器部門



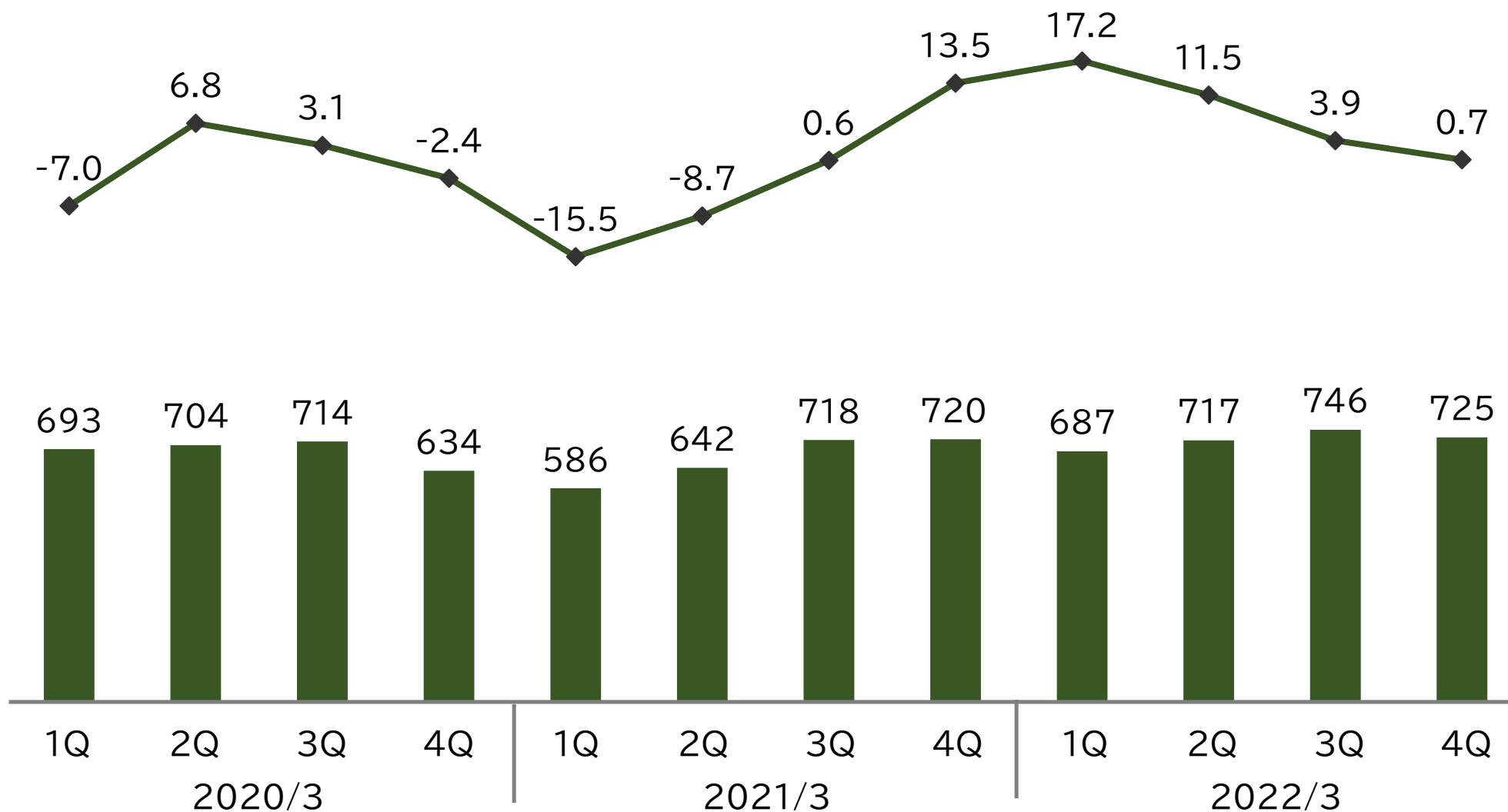
新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で営業活動の制限を受けたものの、病院・施設向け販売、レンタル卸向け販売が堅調に推移したことで増収となりました。一方で、原材料価格や輸送費の高騰、円安に推移した為替の影響から収益性が悪化しました。

HCR機器部門 四半期別実績推移

■ HCR機器部門 売上高

— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

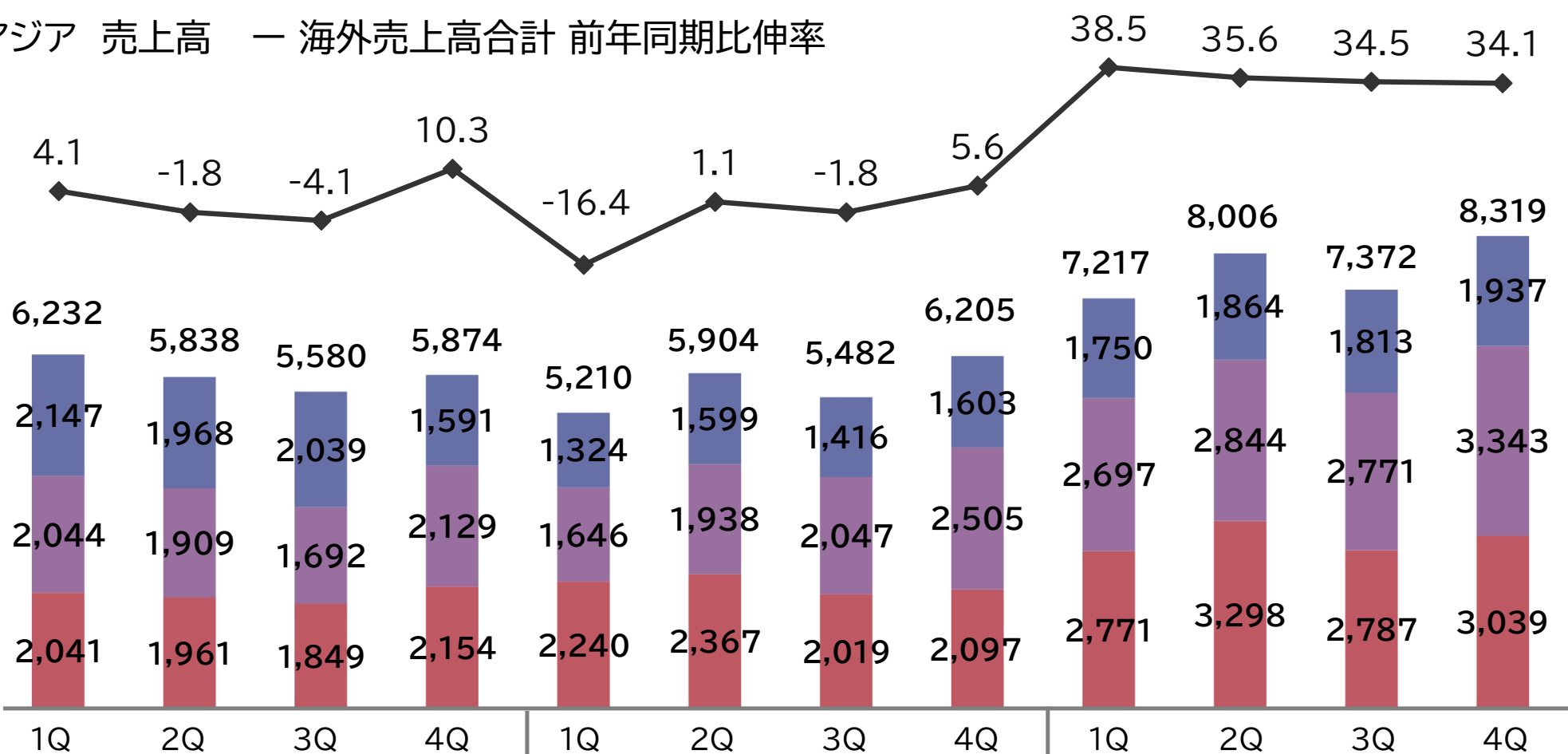
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



海外売上高比率(%)

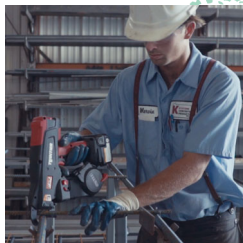
36.1	33.1	31.9	34.0	35.7	38.2	32.9	35.8	42.0	43.6	39.0	42.6
33.8				35.6				41.8			

※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は好調に推移

- ・ 国内・海外コンクリート構造物向け工具 売上 229億円（前年から+39.5%の伸長）
→2024年3月期計画 売上高 220億円を2期前倒しで達成、さらなる事業拡大を進める
- ・ コンクリートディーラー数 2021年3月期末比 +34.9%増（計画：2024年3月期までに+40%増）

海外



〔北米〕

- ・ 既存ディーラーの販売力強化や未開拓領域の新規ディーラー設置に注力。
- ・ 物流の停滞が継続、現地ディーラーの在庫不足に対応する供給体制を強化。

〔欧州〕

- ・ 各国で大規模公共投資によるインフラ需要が継続、特に北欧レンタル市場での買替需要が好調な販売を牽引。
- ・ 新設したドイツ支店を軸に、ディーラーへのサポート体制を強化。



国内



- ・ 現場の稼働と機械累計台数の増加により、消耗品の販売が大きく伸長。
- ・ デモや機械貸出など、現場での認知度を高める取組を進めることで、開拓市場の土木市場に加えて、既存の建築市場における新用途での普及拡大を図る。

2023-2024年3月期 修正中期経営計画

中期経営計画の基本戦略

※2021年4月28日発表

海外事業の成長

ビジネスモデル変革

新規事業の創出

経営基盤の強化

進捗・振り返り

海外事業の成長 ↗

<海外機工品事業 売上高 225億円>

→海外機工品事業の売上高は、当初計画である164億円から、**60億円増の225億円に伸長(計画比+37%)**

<コンクリート構造物向け工具 売上高 229億円>

→2024年3月期計画220億円を**2期前倒しで達成**
→海外のコンクリート構造物向け工具の売上高は、前年に対して**50%**の伸長

ビジネスモデル変革 →

<ストックビジネスの堅調な推移>

→オフィス機器事業の文字表示機器と住環境機器事業の浴室暖房換気乾燥機のリフォーム・リプレイス市場での実績は、前年に対して増加。

<コスト増への対応>

→原材料価格の高騰や輸送費の上昇など、**事業環境の変化に対する売価見直しを状況に応じて実施**。2023年3月期以降も随時実施予定。

2023～24年3月期 全社計画

■想定為替レート

1ドル 120.00円 / 1ユーロ 130.00円

(単位:百万円、%)

	実績 2022年3月期	次期計画		修正中期経営計画 ※2022年4月28日発表	
		2023年3月期	増減率	2024年3月期	増減率
売上高	73,958	78,100	+5.6	81,000	+3.7
営業利益	7,498	8,200	+9.3	9,400	+14.6
経常利益	8,282	8,200	△1.0	9,400	+14.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,090	6,000	△1.5	7,000	+16.7
売上高営業利益率	10.1	10.5	+0.4P	11.6	+1.1P
ROE	7.5	7.2		8.1	

2023～24年3月期 セグメント別計画

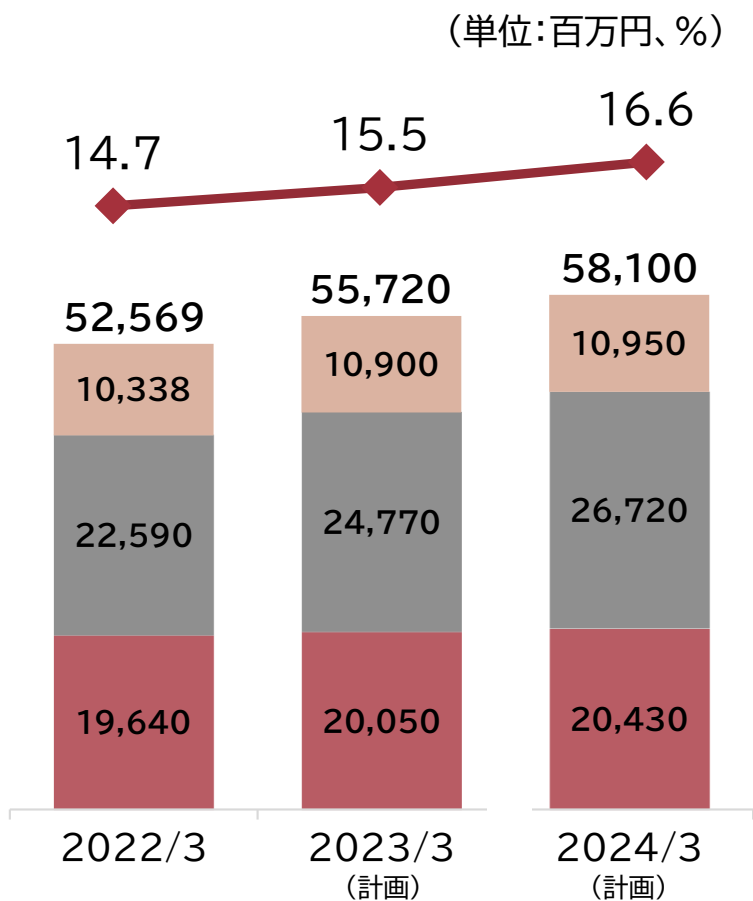
(単位:百万円、%)

	実績 2022年3月期	次期計画		修正中期経営計画 ※2022年4月28日発表	
		2023年3月期	増減率	2024年3月期	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	52,569	55,720	+6.0	58,100	+4.3
セグメント利益	7,739	8,650	+11.8	9,620	+11.2
セグメント利益率	14.7	15.5		16.6	
オフィス機器部門					
売上高	18,513	19,200	+3.7	19,700	+2.6
セグメント利益	3,034	3,280	+8.1	3,410	+4.0
セグメント利益率	16.4	17.1		17.3	
HCR機器部門					
売上高	2,875	3,180	+10.6	3,200	+0.6
セグメント利益	-126	0	—	100	—
セグメント利益率	-4.4	0.0		3.1	
調整額	△3,148	△3,730	—	△3,730	—
全社計					
売上高	73,958	78,100	+5.6	81,000	+3.7
営業利益	7,498	8,200	+9.3	9,400	+14.6
売上高営業利益率	10.1	10.5		11.6	

重点方針

欧米を中心とした海外市場での鉄筋結束機事業の成長

- 国内機工品事業
- 海外機工品事業
- 住環境機器事業
- セグメント利益率



海外機工品事業

- ・ 鉄筋結束機事業に対する営業人員の増員
- ・ コンクリート資材系ディーラー網の拡大・育成強化
- ・ アフターサポート体制の充実

国内機工品事業

- ・ 鉄筋結束機事業の土木市場の開拓、既存市場での新用途提案

住環境機器事業

- ・ 浴室暖房換気乾燥機リフォーム・リプレースのストックビジネス拡大と工事体制の拡充

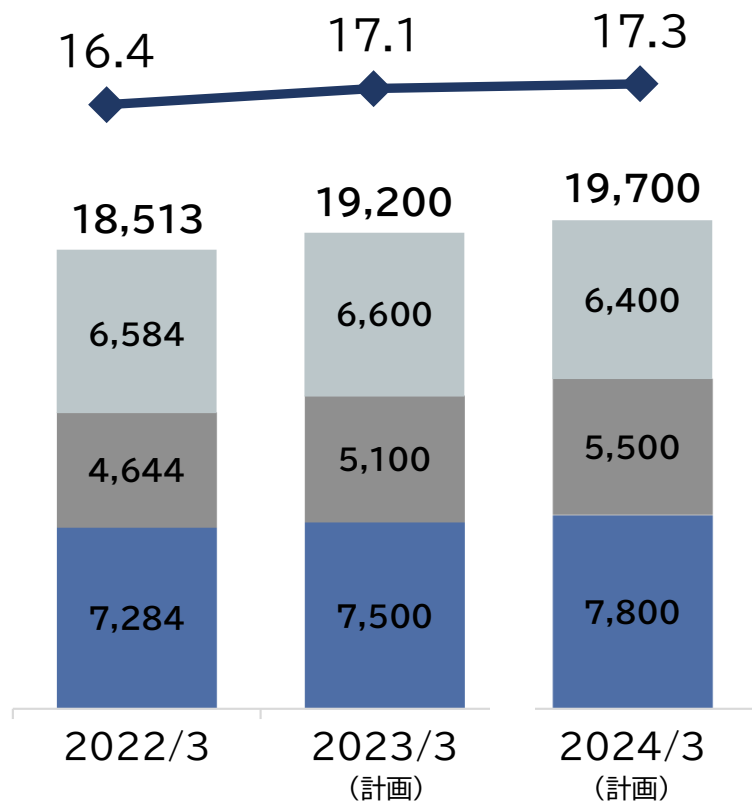


重点方針

文字表示機器(表示作成機「ビーポップ」やチューブマーカ―「レタツイン」など)の拡大によるセグメントにおける収益性の維持

- 国内オフィス事業
- 海外オフィス事業
- オートステープラ事業
- セグメント利益率

(単位:百万円、%)



国内オフィス事業

- ・ ICT活用による顧客接点の強化・営業活動の生産性向上
- ・ 「ビーポップ」や「ラベルプリンタ」など文字表示機器によるストックビジネスの拡大

海外オフィス事業

- ・ 「ビーポップ」や「レタツイン」など文字表示機器の欧米・中国での拡販
- ・ 産業用途で需要が見込まれる電動リムーバなどの提案活動

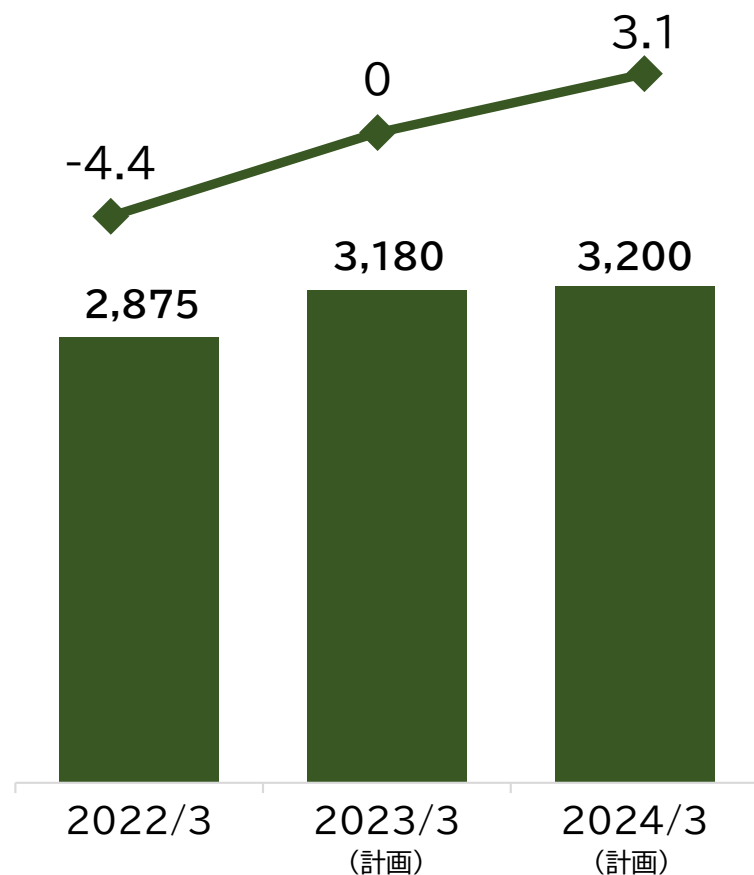


重点方針

高付加価値車いすの販売促進や海外市場での売上拡大、中国工場の生産性改善による収益性の向上

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



- ・ 中国工場の生産性改善と内製化による収益性向上
- ・ 高付加価値車いすの拡販、継続的な新製品投入
- ・ 中国・アセアン市場を中心とする海外市場への展開拡大



国内・海外コンクリート構造物向け工具 売上

2017年11月の充電式鉄筋結束機「ツインタイア」の発売を契機として伸長が継続



欧米を中心とした海外市場の伸長により
2024年3月期の当初計画を2期前倒しで達成

コンクリート構造物向け工具の販売計画を上方修正、
2024年3月期に売上高280億円を目指す

鉄筋結束機事業の重点施策

日本

- ・ 土木市場の開拓
- ・ 既存市場での新用途提案
- ・ NETISを活用した現場での認知度向上の取組

海外(欧米)

- ・ ディーラー網の拡大
- ・ ディーラーの育成・強化
- ・ 営業人員の増強
- ・ アフターサポート体制の強化
- ・ 販売拠点の新設

生産・開発

- ・ 今後の需要拡大を見据えた生産能力増強
- ・ タイ第3工場の建設(2023年3月竣工予定)
- ・ 次世代商品の開発

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

	主な施策	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画
営業インフラ投資	<ul style="list-style-type: none"> 海外拠点営業人員増強、 販売拠点の新設 新規マーケット及び販路の調査 	1.7億円	5億円
デジタル技術への投資	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティング推進 ホームページリニューアル 	1.2億円	2億円
開発戦略投資	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業・サービス検討 知的財産戦略の検討 	3.6億円	5億円
コーポレート・ コミュニケーション投資	<ul style="list-style-type: none"> 統合報告書の発行など ブランドカ/インナーブランディング強化 	0.3億円	1億円
合計		6.8億円	13億円

<変更前>

「連結決算を基準に、
配当性向40%下限、純資産配当率3.0%を目指す」

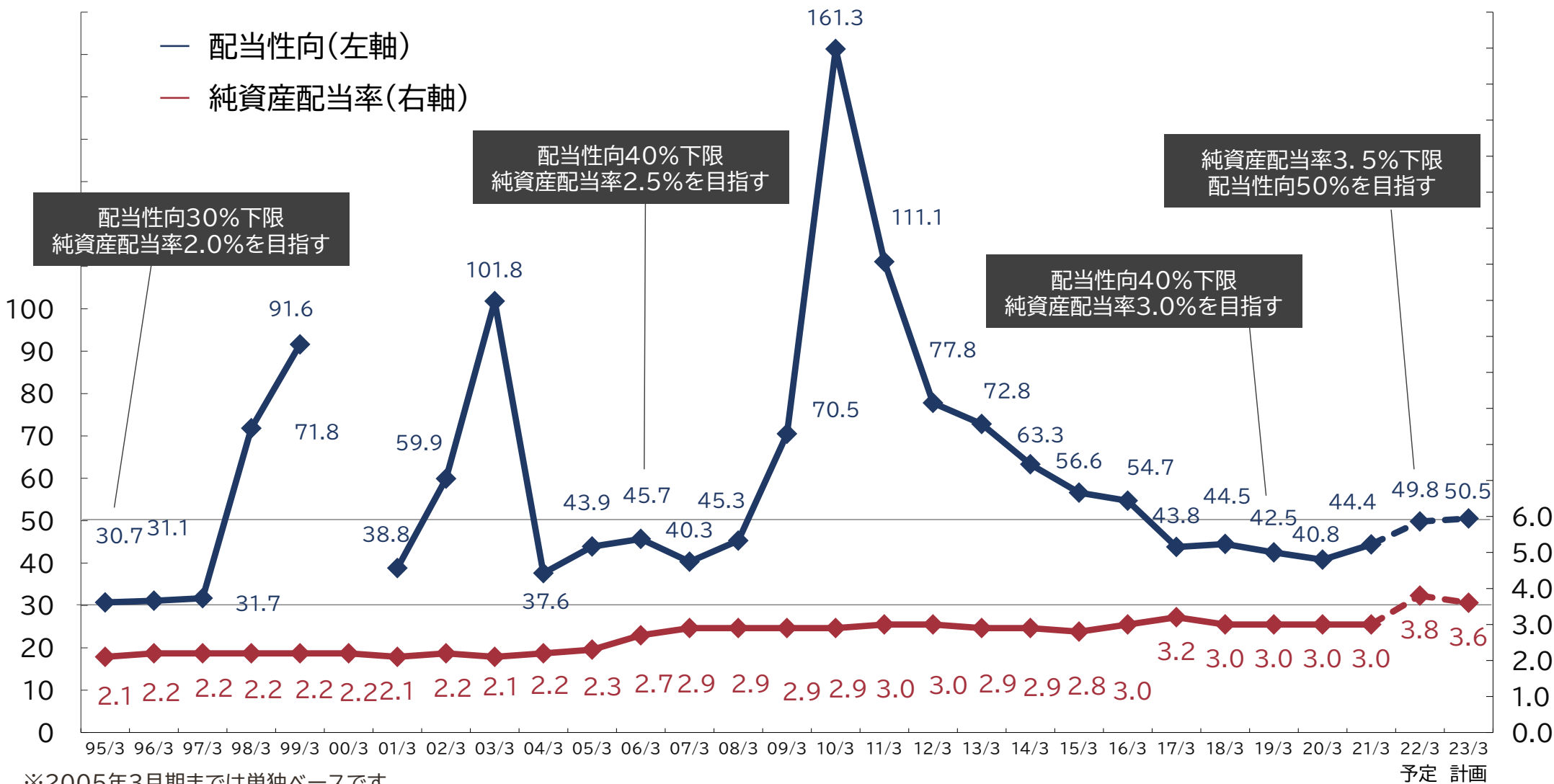


<変更後>

「連結決算を基準に、
純資産配当率3.5%を下限として配当性向50%を目指す」

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

(単位:%)

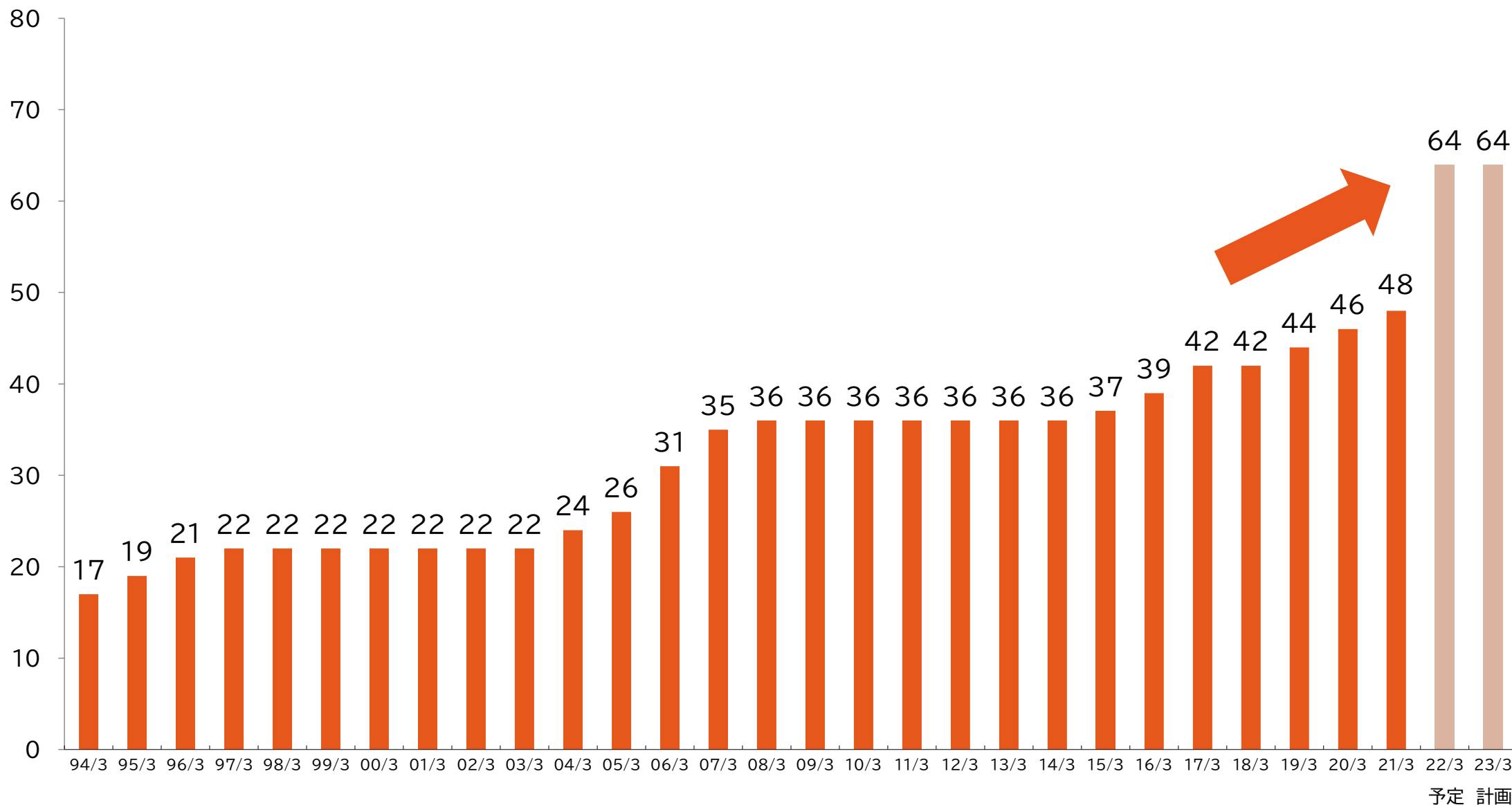


※2005年3月期までは単独ベースです。

※2023年3月期の配当性向及び純資産配当率の計画については、2022/4/28時点の配当政策及び中期経営計画を基に算出しています。

配当政策 1株当たり配当金

(単位:円)



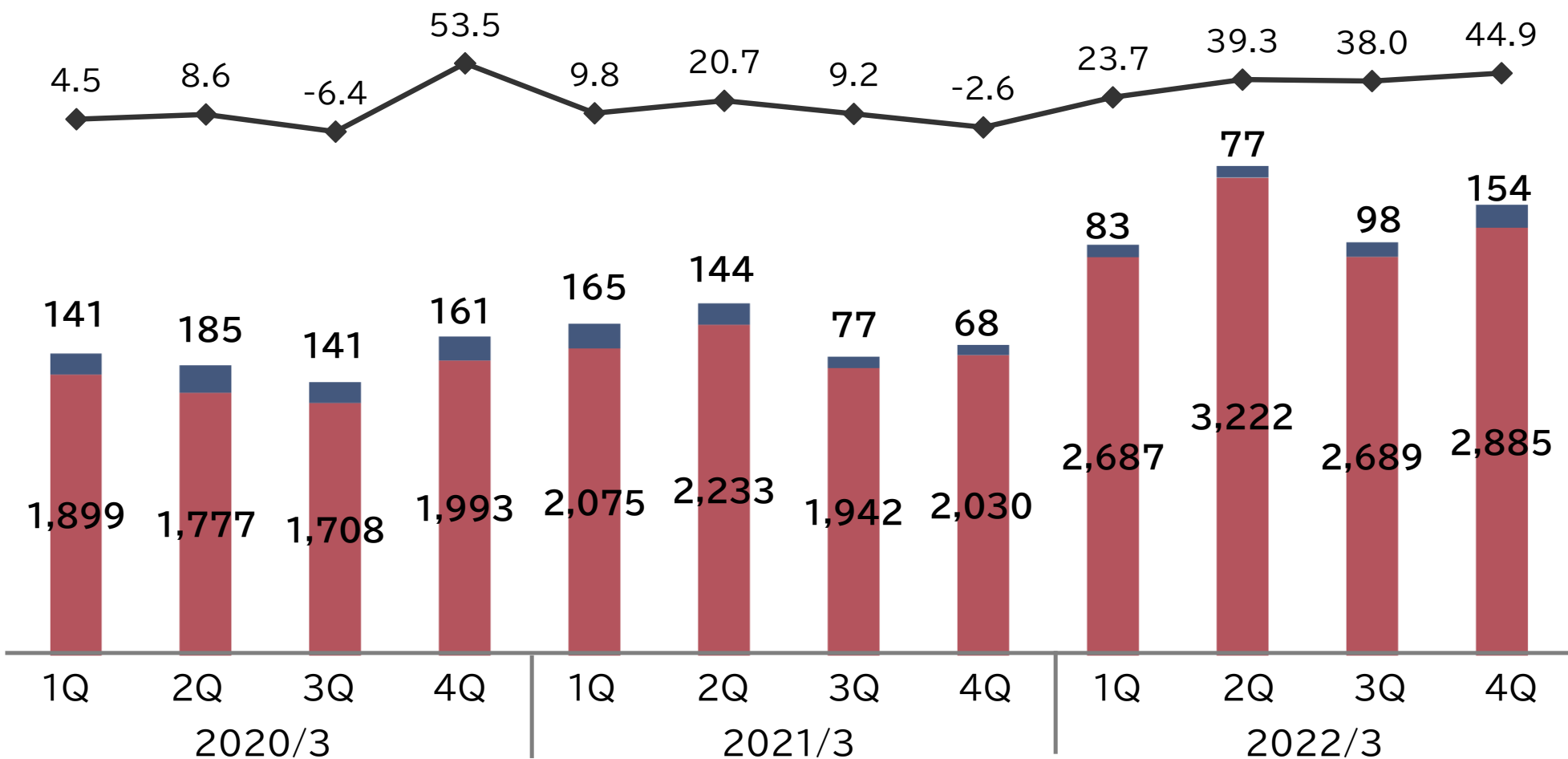
※2023年3月期の配当金の計画については、2022/4/28時点の配当政策及び中期経営計画を基に算出しています。

參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

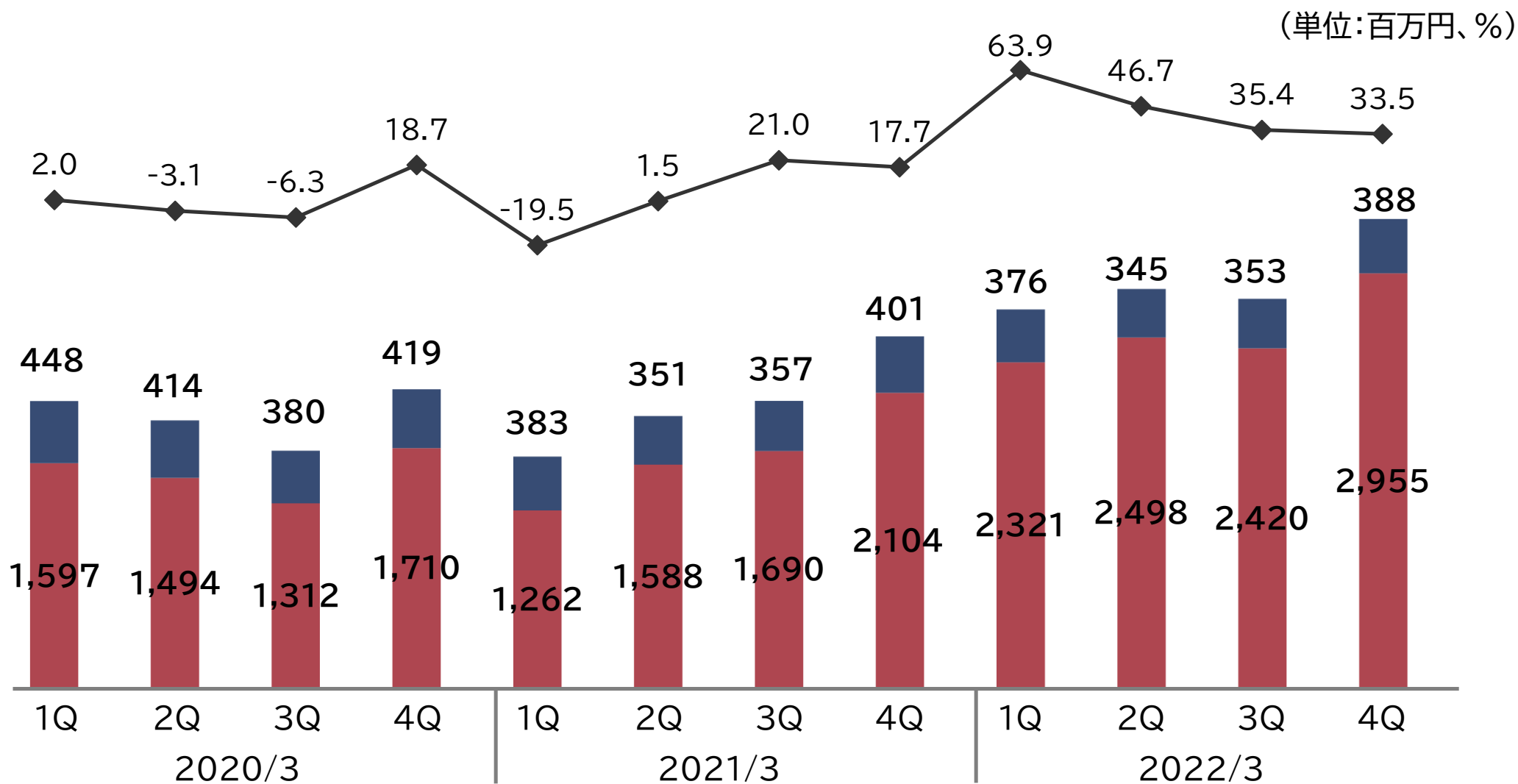
■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)

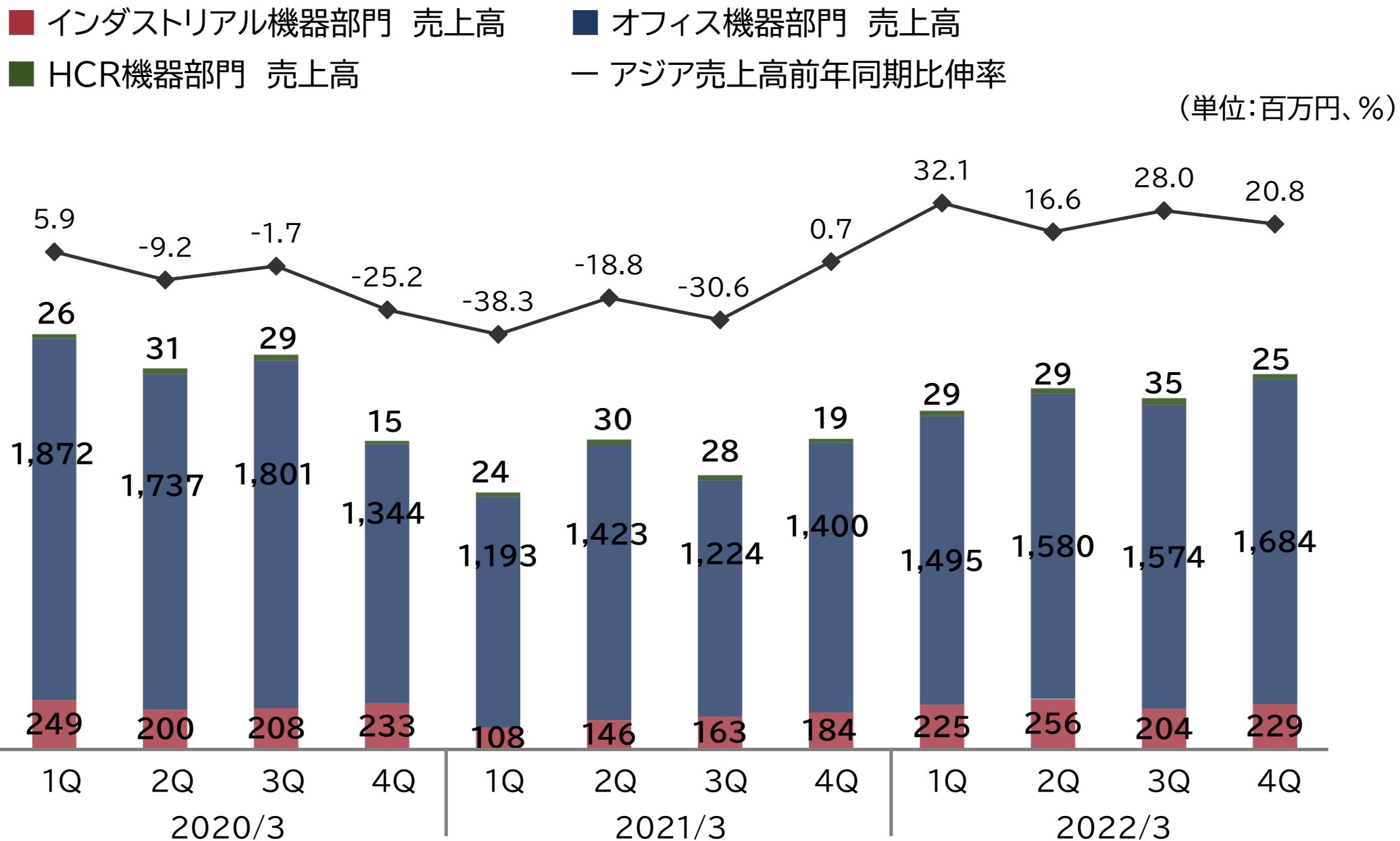


四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)



機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

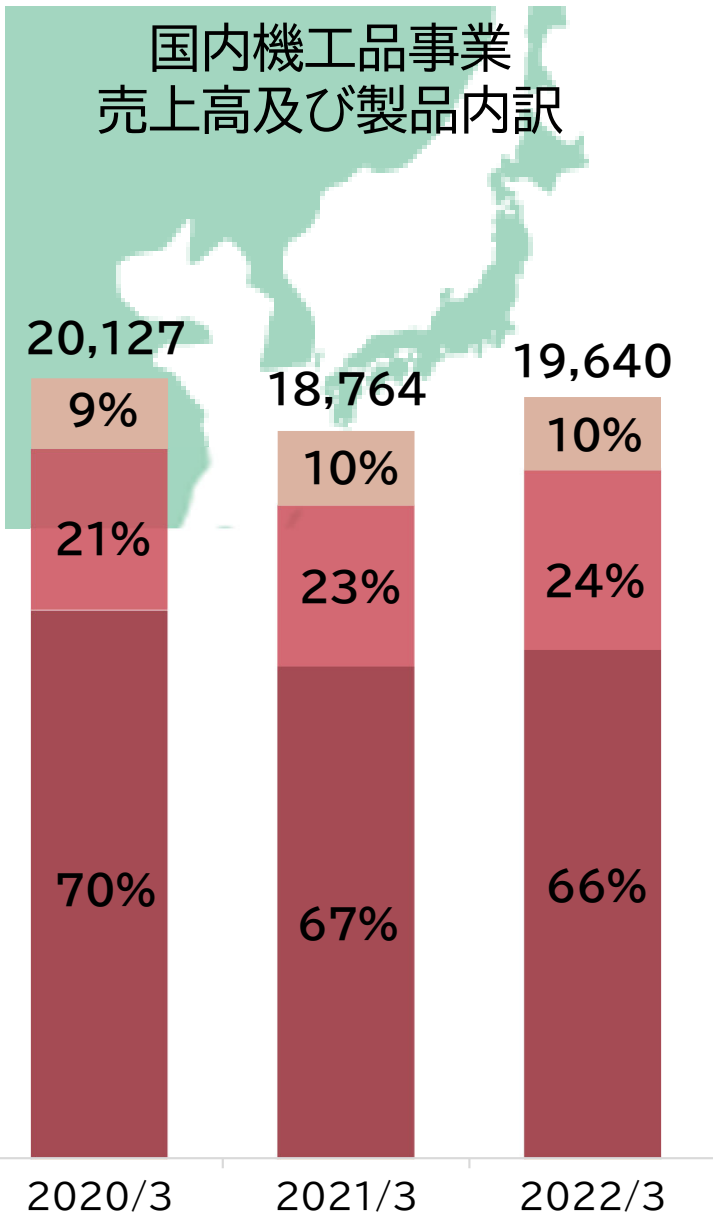
タイムレコーダ



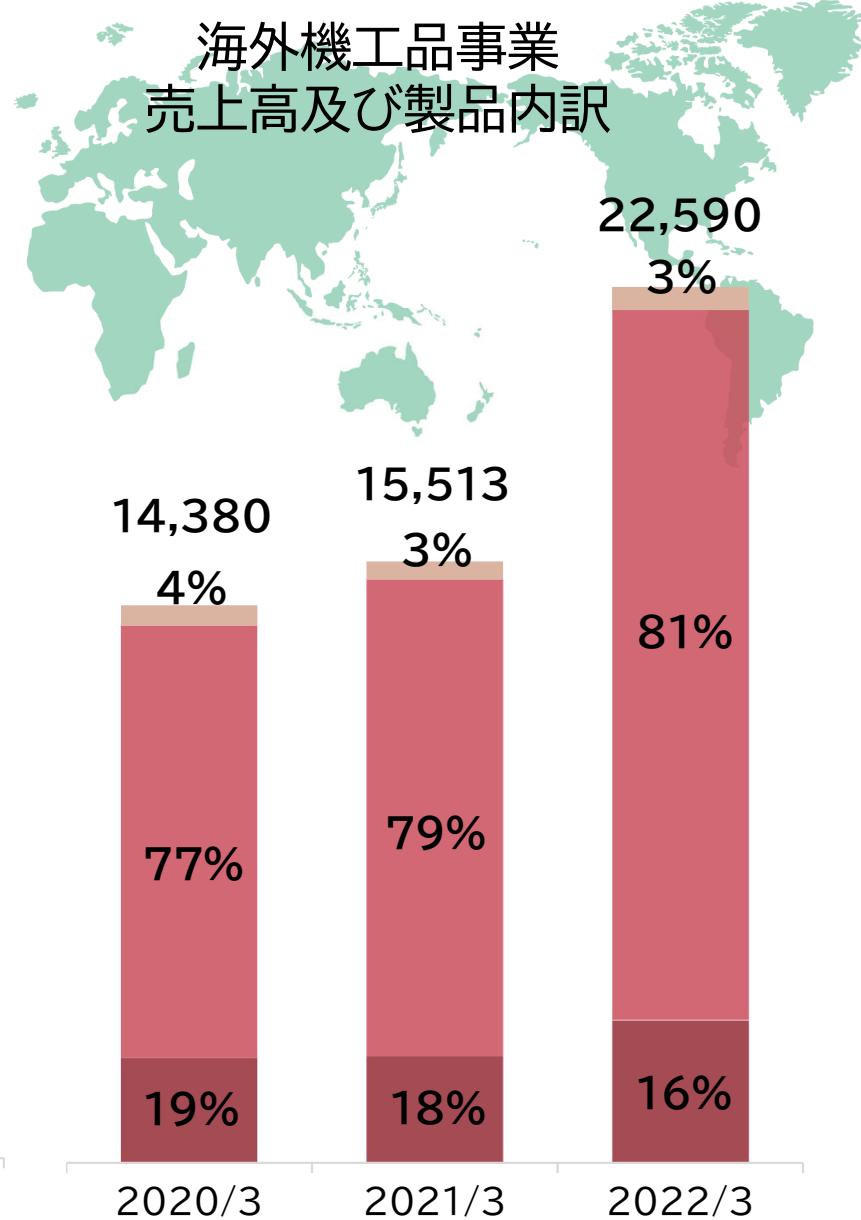
筆耕



国内機工品事業
売上高及び製品内訳

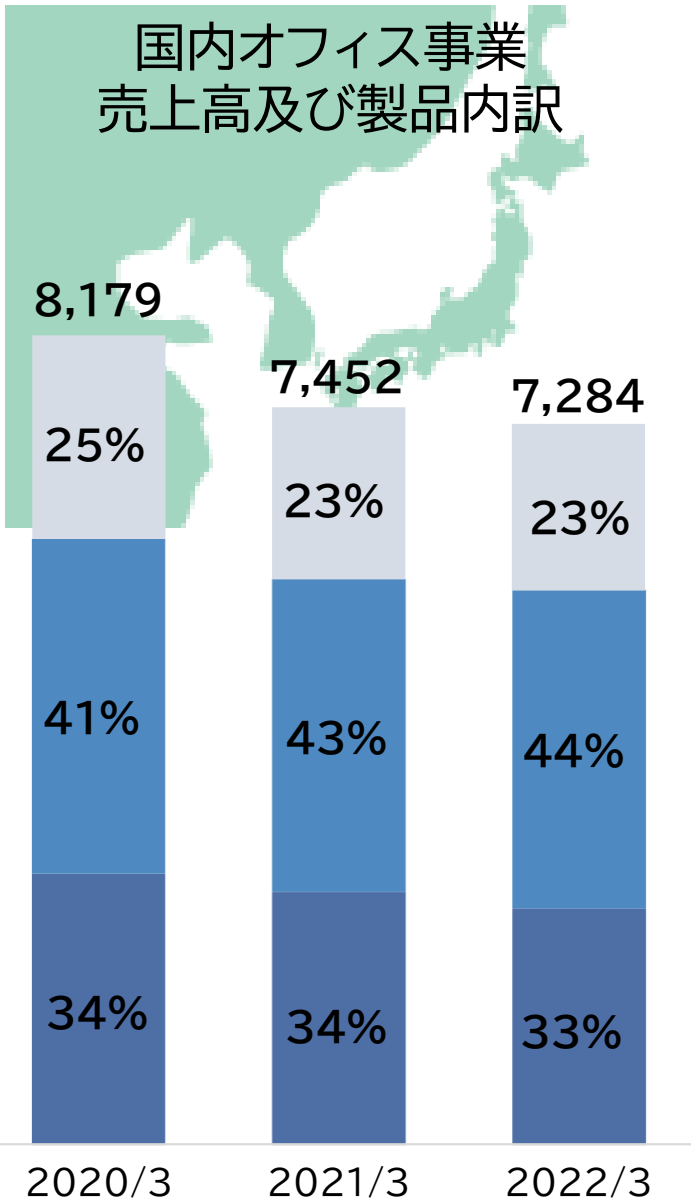


海外機工品事業
売上高及び製品内訳

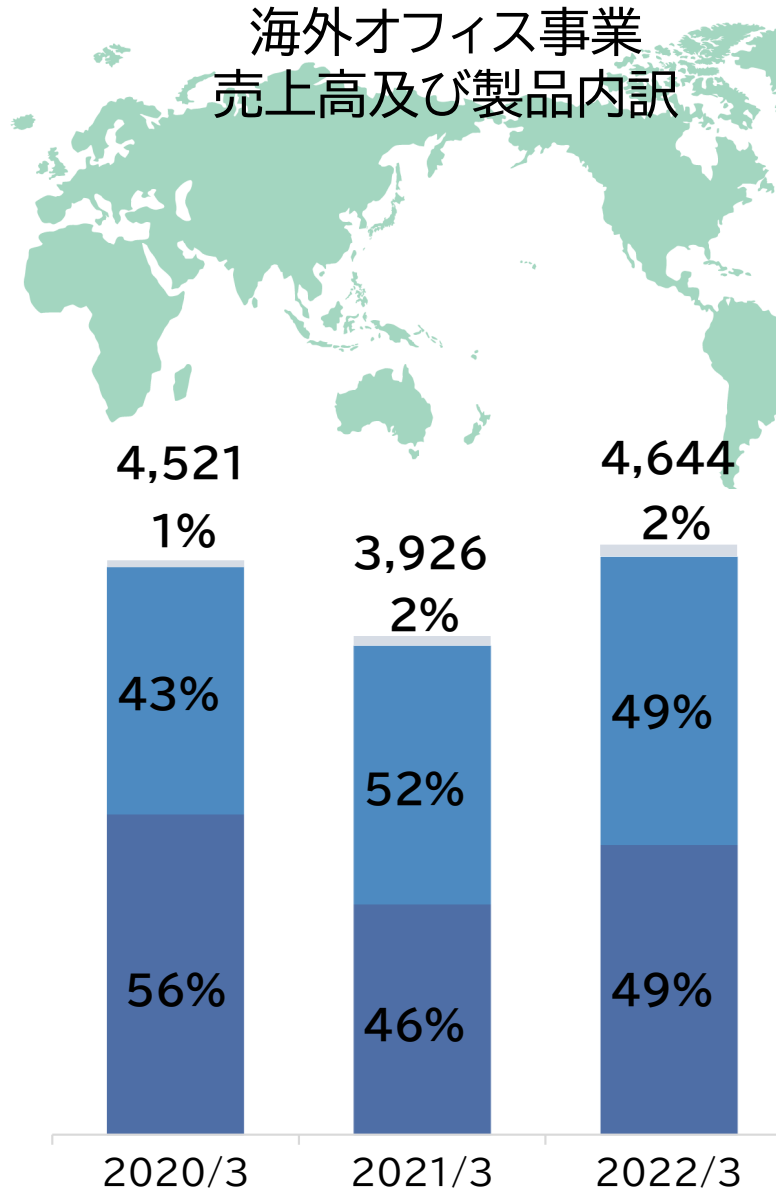


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業
売上高及び製品内訳



海外オフィス事業
売上高及び製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular background.The text "ENGINEERED FOR PERFORMANCE" is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned between two horizontal, wavy orange lines that curve upwards at their ends.

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。